

(株)飛騨ダイカスト(製造業(自動車部品)・飛騨市)

柔軟な勤務時間やパートの廃止により、女性社員の定着に繋げる

- ・パートを廃止し、短時間正社員として雇用
- ・取組みを社員に理解してもらうために、社員との対話を重視。第三者による面談で社員の本音を社内改革に繋げる
- ・多能工化やリモートワークなども進め、各社員の事情に応じた柔軟な働き方を進める



飛騨市内にある（株）飛騨ダイカスト

溶解したアルミ合金を高圧で金型に注入し、素早く凝固させて製造する工法である「ダイカスト」。（株）飛騨ダイカストは、この工法で、主にアルミ製自動車部品の製造を行っています。

同社の主製品は精密さが求められる自動車部品であり、製造工程のうち、特に「素材検査」や「出荷検査」、「加工」に係る社員の定着が必須の課題でした。

女性社員の定着のため柔軟な働き方を進める

そこで、社員、とりわけ女性社員の定着を主な目的として、各個人の事情に応じて勤務時間を相談しながら柔軟に決めることができるようにしました。

さらに有給休暇についても、1日・半日単位での取得に加え、子どもの学校行事、地域行事への参加や家族の介護等も考慮し、時間単位での取得を可能にしました。

加えてパートを廃止し、短時間正社員として登用する取組みも行い、女性正社員18人のうち8人はパートから正社員として登用しています。子育て中は短時間正社員として、子育てが終わればフルタイム正社員への切り替えも可能であり、これらの取組みが女性社員の定着に繋がっています。

社内改革の力は、従業員の声に向き合うこと

一方で、こうした取組みは当初、社内でなかなか理解してもらえず、男性社員を中心に反発する声もありました。そこで始めたのが、社長など経営幹部と社員とのマンツーマンでの面談です。直接の上司には話しくいことがあるのではないかと考え、昨年度からは外部コンサルタントに社員との面談を依頼。第三者を通して社員から生の声を吸い上げ、社内改革につなげていく取組みを行っています。「今まで聞かれなかったような厳しい意見もありますが、第三者に入つてもうことで、会社のことを真剣に考えていてくれる社員の本音が聞けるので、

本当に良い取組みだと感じています。社員のことを理解しているつもりでも、実際は理解できていなかったことに気づかされ、社員の思いや考えが、以前よりもよくわかるようになりました」と渡邊正憲社長は語ります。

多能工化やリモートワークにも対応

こうした社員の意見を踏まえ、家庭の事情などによる急な休みにも対応できるよう、1人が複数業務のスキルを取得する多能工化の取組みを進め、多くの業務を複数の社員が行うことを可能としているほか、一部の事務職ではリモートワークにも対応し、各社員の事情に応じた柔軟な働き方を進めています。



チームで作業を行う社員

DXで作業効率が向上



タブレットで日報を入力する社員

加えて、DXの取組みも進めており、6年前から生産記録など紙の書類をデータ化してクラウドに保存。社員の役職別に閲覧可能な階層を分けつつ、広く社員が確認できるようにしたことで、作業効率が一気に上がりました。また、それまで紙で作成していた日報も、タブレット入力に変更することで、記載・提出・保存・参照が容易になり、こちらも作業効率の向上に一役買っています。

新入社員紹介制度も創設

また、今年から新たに新入社員紹介制度を設け、社員の紹介で入社し、一定期間継続して勤務した場合、紹介者である社員が報奨金を受け取ることができる制度を設け、新入社員の確保を進めています。

こうした取組みの成果もあり、今年も3名の社員を新たに雇用し、人手不足にも少しずつ効果が表れています。今後は、人材の確保・定着に加え「人間しか出来ない『職人』としての能力を磨き、管理職となる人材を育てていきたい」と渡邊社長は考えています。

【従業員の声】

子育てを理解してくれる仲間が職場にいてくれるので、安心して仕事と子育てを楽しむことができています。生活が充実しているのでゆとりができ、家族との団らんの時間を大切にできるので、子どもとの会話も自然と弾みます。

【(株)飛騨ダイカスト】 (<https://hida-daikasuto.jp/>)

所在地：飛騨市古川町宮城町491番地1

従業員：58名（うち正社員56名、派遣社員2名）

設立：平成17年

（令和7年8月末時点）